

復興庁 令和元年度省庁別財務書類の概要

省庁別財務書類について

- 作成目的
一般会計及び特別会計を合算した復興庁の財務状況を開示。なお、平成 25 年度から一般会計を所管しておらず、特別会計のみ所管している。
- 作成方法
「省庁別財務書類の作成基準」に基づき作成。
- 各財務書類の表す財務情報
(貸借対照表)
資産及び負債の状況を開示。
(業務費用計算書)
本年度に発生した費用の状況を開示。
(資産・負債差額増減計算書)
貸借対照表の前年度末資産・負債差額と本年度末資産・負債差額の増減を要因別に開示。
(区分別収支計算書)
歳入歳出決算の財政資金の流れを区分別に開示。

復興庁の業務等の概要

- 復興庁の所掌する業務の概要
(1) 東日本大震災復興基本法(平成 23 年法律第 76 号)第 2 条の基本理念にのっとり、東日本大震災(平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及びこれに伴う原子力発電所の事故による災害をいう。以下同じ。)からの復興に関する内閣の事務を内閣官房とともに助けること。
(2) 東日本大震災復興基本法第 2 条の基本理念にのっとり、主体的かつ一体的に行うべき東日本大震災からの復興に関する行政事務の円滑かつ迅速な遂行を図ること。
- 定員 (令和元年度予算定員)
東日本大震災復興特別会計の予算定員は 215 名である。
- 歳入歳出決算の概要
収納済歳入額: 6,652 億円
支出済歳出額: 281 億円
剰余金 6,371 億円

参考情報

公債関連情報(仮定計算により算定)
公債発行対象経費及び歳出決算額の累計額等を基礎として配分される本年度末公債残高 5,256 億円、本年度公債発行額なし、本年度利払費 38 億円

貸借対照表

(単位:十億円)

前年度	元年度	増減	前年度	元年度	増減		
< 資産の部 >			< 負債の部 >				
現金・預金	664	910	246	未払金	1	1	△0
前払費用	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
その他の債権等	1	1	△0	退職給付引当金	1	1	△0
有形固定資産	0	0	△0				
物品	0	0	△0				
無形固定資産	0	0	△0				
				負債合計	3	3	△0
				< 資産・負債差額の部 >			
				資産・負債差額	662	908	246
資産合計	665	911	245	負債及び資産・負債差額合計	665	911	245

主な科目の内訳

(カッコ内は前年度からの増減額)

(貸借対照表)

現金・預金	9,102 億円 (2,460 億円)
…日本銀行預金	9,102 億円 (2,460 億円)

主な増減内容等

- 貸借対照表 (資産)
現金・預金…日本銀行預金 2,460 億円
- 業務費用計算書
補助金等 △5 億円
- 資産・負債差額増減計算書
令和元年度業務費用合計と財源合計との差額 2,462 億円
(左記(A)+(B)により算出)
⇒企業会計の「当期純利益」に相当
- 区分別収支計算書
財源…配賦財源 3,171 億円
前年度剰余金受入 △717 億円
業務支出…補助金等 8 億円

業務費用計算書

(単位:十億円)

前年度	元年度	増減	
人件費	2	2	0
賞与引当金等繰入額	0	0	0
退職給付引当金等繰入額	0	0	△0
補助金等	13	12	△0
委託費等	7	7	0
庁費等	4	4	0
その他の経費	0	0	△0
減価償却費	0	0	△0
支払利息	0	-	△0
資産処分損益	0	0	△0
本年度業務費用合計	28	27	△0

資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

前年度	元年度	増減	
前年度末資産・負債差額	733	662	△71
本年度業務費用合計 (A)	△28	△27	0
財源合計 (B)	△43	274	317
配賦財源	△44	273	317
自己収入	0	1	0
無償所管換等	△0	0	0
本年度末資産・負債差額	662	908	246
(参考) (A)+(B)	△71	246	317

区分別収支計算書

(単位:十億円)

前年度	元年度	増減	
業務収支	664	910	245
財源	692	938	245
業務支出	△28	△28	0
財務収支	△0	-	0
本年度収支(業務収支+財務収支)	664	910	246
本年度末現金・預金残高	664	910	246